

J-SLA ニュースレター 2018 年 10 月号

(The English version is placed after the Japanese version.)

この夏から秋にかけては、地震や台風が多くございました。
被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、いよいよ秋の研修会が近づいてまいりました。

<今号の内容>

1. 2018 年度 J-SLA 秋の研修会
 2. 2018 年度第二回総会開催
 3. 学会誌 *Second Language* への J-STAGE を通したアクセス状況
 4. 広報委員会から
 5. 公開研究会のお知らせ
-

1. 2018 年度 J-SLA 秋の研修会

日時： 2018 年 10 月 28 日(日) 10:40-17:30

会場： 同志社大学烏丸キャンパス 志高館 110 番教室 (<https://bit.ly/2Ln06lU>)

会場は、地下鉄を降りてすぐの今出川キャンパスではありません。「良心館」という
建物を右手に見ながらさらに数分歩いた烏丸キャンパスにあります。

アクセス <https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/karasuma.html>

テーマ：“The acquisition of articles (DPs)” (英語の冠詞の習得)

受付 10:30～

10:40-11:40 The acquisition of articles (DPs): The story so far

Neal Snape (群馬県立女子大学)

11:50-12:50 (Bare) plural DPs and L2 acquisition: From generics to mass/count
distinction and plurality

Kook-Hee Gil (シェフィールド大学)

12:50-13:50 休憩

13:50-14:10 総会

14:10-14:50 The count-mass distinction and English articles

小川睦美 (日本大学)

14:50-15:30 Accounting for article interpretation in L2 English by L1 Japanese adult
and child learners

山田一美 (関西学院大学)

15:30–16:10 Articles, telicity, and lexical transfer

若林茂則・木村崇是（中央大学）

16:20–17:30 ラウンドテーブルパネルディスカッション（発表者全員）

使用言語：英語

参加費：1,000 円（会員・非会員、学生・一般すべて共通）

＜お問い合わせ先＞

J-SLA 事務局 若林 茂則

swkbys37[at]tamacc.chuo-u.ac.jp（[] を外してお送りください。）

2. 2018 年度第二回総会開催

2018 年 10 月 28 日(日) 13:50-14:10 に、2018 年度 J-SLA 秋の研修会の会場で、2018 年度第二回総会を開催いたします。2017 年度会計監査報告、2019 年度行事予定の決定などが行われます。積極的なご参加をお願いいたします。

3. 学会誌 *Second Language* への J-STAGE を通したアクセス状況

学会誌 *Second Language* は、J-STAGE を通して、ウェブ上で公開されています。

★2018 年 8 月論文別アクセス数トップ 4

順位	論文タイトル	巻, 開始頁
1	言語習得の臨界期について	3, 3
2	言語理論と教室第二言語習得研究	16, 39
3	日本語母語話者による英語冠詞選択における普遍的意味素性の影響	15, 31
4	拗音習得過程に見られる第一, 第二言語の音韻構造の影響	3, 27

★2018 年 8 月国・地域別アクセス数ランキング

順位	国・地域	書誌事項	全文 PDF
1	日本	180	108
2	東アジア(中国など、日本含まず)	69	56
3	北アメリカ(アメリカなど)	68	42
4	西ヨーロッパ (イタリアなど)	4	6
5	北ヨーロッパ (デンマークなど)	1	7
	その他(オーストラリア、インドネシア、イランなど)	5	5
	合計	327	224

担当者の分析とメッセージ

<分析>

○論文別アクセスランキングは、3 位以降が前回から入れ替わった。3 位の論文トピックは冠詞に関わるもので、10 月に開催される研修会のテーマとも関係している。

○書誌事項へのアクセス数が、390 (7 月) から 327 (8 月) に減少している。授業のない期間、他学会のイベントに参加する学会員が多いためかもしれない。

○中国、韓国、台湾など東アジアからのアクセスが増えている。

<メッセージ>

J-STAGE で公開されている *Second Language* 掲載論文を文献研究・先行研究の確認に、より一層ご活用ください。

4. ウェブページへの情報掲載について

他学会情報や求人情報を、学会ウェブページに掲載しております。

他学会や求人に関することなど、第二言語習得研究者にとって有益と思われる情報について、積極的に掲載したいと思いますので、事務局まで情報をお寄せください。ただし、本学会の趣旨並びに広報委員会の基準に照らし合わせて掲載不可となる場合がありますので、ご了承ください。

現在、掲載中の情報（抜粋）

【他学会の情報（2018 年内に発表申込締切のもの。これら以外の学会情報は J-SLA のウェブページをご覧ください。）】

・2019 年 3 月 22-24 日アメリカ【発表申込締切：2018 年 11 月 2 日】

XV Generative Approaches to Second Language Acquisition Conference

- ・ 2019 年 6 月 23-28 日カナダ【発表申込締切：2018 年 10 月 15 日】
International Symposium on Bilingualism 12 (ISB12)
- ・ 2019 年 6 月 17-19 日フィンランド【発表申込締切：2018 年 11 月 5 日】
Thinking, Doing, Learning: Usage based perspectives on second language learning (TDL4)
- ・ 7 月 1-3 日, イギリス【発表申込締切：2018 年 12 月 25 日】
Acquisition of Chinese: Bilingualism and Multilingualism

【その他】

- ・ 中央大学人文科学研究所公開講演会

<https://sites.google.com/site/hirakawakaken/events>

日時：2018 年 11 月 10 日（土）15:15～18:00

会場：中央大学 多摩キャンパス 2 号館 4 階 研究所会議室 2

発表①（15:15～16:15）

講師：Chariya Prapobratanakul (Chulalongkorn University, Thailand; 中央大学人文科学研究所 外国人研究者)

講演タイトル：Variability of English Past Tense Morphology by L1 Thai Learners and L1 French Learners

発表②（16:30～18:00）

講師：Roumyana Slabakova (University of Southampton, UK)

講演タイトル：Are Pronouns Difficult Words?

※事前予約は不要です。直接会場にお越しください。

※講演は英語で行われます。

※講演会後に、懇親会（無料）もごさいます。あわせてご参加ください。

- ・ 国立国語研究所：第 4 回学習者コーパス・ワークショップ&シンポジウム
- ・ 学術講演会「When? –外国語学習における最適な練習間隔を探る–」のお知らせ
- ・ 第 1 回 JAAL in JACET 学術交流集会 参加申込のお知らせ
- ・ 第二言語習得研究会：『第二言語としての日本語の習得研究』誌から学位論文情報の募集

- ・ Hong Kong PhD Fellowship Scheme, 2019-20 募集
- ・ パデュー大学大学院生募集
- ・ 国立国語研究所：平成 30 年度公募型研究募集

秋の研修会で皆様にお目にかかるのを楽しみにしております。ぜひお誘いあわせの上、お出かけください。

ニューズレター及び J-SLA に関する問合せ：若林茂則<swkbys37[@]tamacc.chuo-u.ac.jp>